

施工要領書

サンマグネシタジ

特徴：壁紙の下に貼ることで壁面に着磁性能を持たせます。

選択上の注意

- 着磁性能は上貼りする壁紙によって変動します。事前にサンプルを組み合わせるなどしてご確認ください

施工準備

- 製品重量が重いため、複数名での施工をおすすめします。
- 多少巻き癖が残っている場合があります。その場合は事前に仮置きをしたうえ、カールを取ってから施工をお願いします。

下地調整

- 入念な下地処理を行い、施工面を平滑にしてください。

接着剤塗布

- 接着剤

接着剤はミックス糊（BB-307）、EV30（ウォールボンド工業株式会社製造）をおすすめします。
必ず相手糊で施工してください。

- オープンタイム・保管

オープンタイムは 20 分が目安になりますが、温度や湿度に左右されますので現場環境に合わせて調節してください。特に冬場は十分なオープンタイムがないと接着力不足による剥がれや、フクレに繋がるおそれがあります。オープンタイムを取った後、貼り付け前に再度ローラーで表面をならし、糊が均一に塗布されるようにしてください。

EV30 は砂骨材ローラーを使用して塗布してください。200g/m²程度が目安となります。

オープンタイムはほぼ不要ですが、タックが出ていることを確認するようにしてください。

貼り付け

- 出隅、入隅などへの折り曲げての施工はできません。
- 製品の貼り付け面は、布裏側になります。
- 突き付け貼りでの施工になります。貼り替えのことを考慮して下地が傷まないようにハترون紙などをベタ貼りした施工をおすすめします。
- 耳はありませんので直接施工することができますが、ジョイントがある場合は両耳を化粧断ちしていただくことをおすすめします。
- 基本的に下地全面に施工してください。部分的に施工しますとサンマグネシタジの未施工部分との不陸の上に貼った壁紙が拾う可能性があります。ジョイントが発生する場合には不陸が出ないようにパテ処理をし（3 cm幅程度。太く打ちすぎないことをお勧めします）、上に貼る壁紙のジョイントとは重ならないようにしてください。薄い材料を上貼る場合は特に念入りな下地調整が必要です。
- パテ処理および上に貼る壁紙の施工は、サンマグネシタジが十分に接着されていることを確認した上で施工してください。特に水分が抜けにくいフィルム汚防止壁紙等を上に貼る場合は膨れが生じやすいため、オープンタイムによく注意して施工をお願いします

施工要領書

注意事項

- 裏面に鉄粉シートを使用しており製品側面、小口がサビにより経年で変色するおそれがあります。
- 厚みやエンボスのある壁紙を上貼すると十分な着磁性が発揮されない場合があります。一部品番で着磁力の測定を行っています。詳細は弊社営業窓口にお問い合わせください。
- リアテックは厚みが特に薄い材料のため、上貼ることはおすすめしません。